

英語外部検定試験（TOEFLiBT）のスコアを利用する推薦入試の導入について

国際文化学部長 大月 一弘

① 内容

神戸大学国際文化学部は、グローバル人材の育成を推進するための学部入試改革の一環として、平成28年度入試から英語外部検定試験（TOEFLiBT）のスコアを利用した推薦入試を導入します。

② 特徴

この入試は、学力のみならず人物、能力、資質等において特に優れ、本学部が定めるアドミッション・ポリシーに照らして、高等学校長又は中等教育学校長が責任をもって推薦する者を対象として、推薦書、調査書及び自己推薦書の内容並びに英語外部検定試験（TOEFLiBT）スコア、大学入試センター試験の成績を総合して選抜を行います。定員は10名です。

この推薦入試の特色は、英語外部検定試験（TOEFLiBT）のスコアを直接、選考に用いることで、これにより受験生の英語の能力を適切に評価し、

英語の4技能（「読む（Reading）」「書く（Writing）」「聞く（Listening）」「話す（Speaking）」）に優れた学生を選抜し、グローバル人材の育成をさらに推進したいと考えています。